

城北地域会まち歩き

城北地域の景観と建築を考える

～城北地域の景観形成における背景／文化的資産と近代建築を通して～

JIA 城北地域会

城北地域の景観の特色は、池袋や赤羽等の商業集積地や目白や常盤台、石神井等の良質な住宅地、新河岸川周辺の工業地域や住工の混在する板橋区中央部など、江戸時代以降特に明治以降の産業の発達とそれに伴う生活環境の変化に大きく起因している。

江戸時代の文化を背景に発達していった街道筋、その交易がもたらす周辺地域の発達。明治期以降の軍事産業や石神井川から隅田川へと続く水利がもたらす産業の発達と田園型・郊外型住宅の開発での良質な住環境整備の基礎など、現在の城北地域の景観を特色づける事象の萌芽がその頃にある。

今回のまち歩きでは、近代建築が比較的多く残る王子・飛鳥山周辺から旧中山道沿いに広がる地藏通商店街までを訪ね歩き、城北地域の景観形成におけるその背景を再確認しようという企画である。

少し広範なエリアではあるが、東京で唯一残る都電も利用し、効率よく見学してみたい。

訪れる場所は、ミシュランガイドブック的には決して3つ星ではなくむしろ2つ星を選んだつもりである。しかし、これらはいずれも地域の景観と建築を考える上では重要な場所である。

これらを訪れることで、より城北地域に多くの関心を持ってもらえればと思っており、それぞれの方が1つ星のスポットを見つけて頂ければと思っている。

日 時 2007年5月19日(土) 集合 13:15 東京書籍印刷社 正門(守衛所)前

<第1部> 13:30 「東京書籍印刷社」工場等の建物の見学

<第2部> 14:30 頃～ まち歩き

東書文庫→音無親水公園→酒類総合研究所→晩香廬・青淵文庫→(都電利用)
→旧中山道・地藏通り商店街経由→巣鴨駅

<第3部> 18:30 頃～ 懇親会(会場未定)

CPD: 5単位 予定(終了後グループ申請)

参加費 JIA会員 1000円(資料代) 学生・一般は無料(懇親会費は別途)

◆ 参 考 資 料（今回の見学地及び近接の見学候補地）

東京書籍印刷の工場群・事務所棟・守衛所



北区堀船 1-23-31

立体トラス（ダイヤモンドトラス）で架構した広大な無柱空間をもつ蒲鉾型のドームが3棟からなる工場とアールデコ調のスクラッチタイル張りの事務所棟と守衛所。

工場の外観は大きなドーム屋根に連続するドーマー窓が特徴で、屋根材は大波スレートのため黒く変色しているがドームの小口等に使われるスクラッチタイルやドーマー窓のスチールサッシ等に往時のエネルギーを感じさせるものがある。

また、どちらかというと寡黙な外観に対して内部の立体トラスの架構は圧倒的な迫力を持って迎えてくれる。

竣工：1936（昭和11）年

設計：西谷健吉＋山本喜一



東書文庫



北区栄町 48-23

東京書籍印刷の工場の道路の反対側の建物

事務所棟や守衛所と同様、スクラッチタイル張りのアールデコ様式の外観が特徴

竣工：1936（昭和11）年

設計：西谷健吉＋山本喜一

酒類総合研究所東京事務所



北区滝野川 2-6-30

煉瓦造 3 階建て 旧大蔵省醸造試験所

内部の見学は不可（土曜日のため）外観の見学は可能

建物周辺を醸造試験所跡地公園として保存建物と一体の修景を試みているにもかかわらず、明治通り沿いのマンションはその努力を配慮してくれない。

竣工：1902（明治 35）年

設計：妻木頼黄（大蔵省営繕課）

晩香廬（ばんこうろ）



北区西ヶ原 2-16-1

渋沢栄一の喜寿を祝って現在の清水建設が贈った洋風茶室。

内外の賓客を迎えるレセプション・ルームとして使用

内部の見学は休館中のため不可。外観の見学は可能

国・重要文化財

竣工：1917（大正 6）年

設計：田辺淳吉（清水組技師長）

青淵文庫（せいえんぶんこ）



北区西ヶ原 2-16-1

渋沢栄一の 80 歳の祝いと男爵から子爵に昇格した祝いを兼ねて竜門社（渋沢栄一記念財団の前身）が寄贈。

書庫として、また接客の場として使用。

内部の見学は休館中のため不可。外観の見学は可能

国・重要文化財

竣工：1925（大正 14）年

設計：中村・田辺建築事務所

旧古河邸及び庭園（今回のコース外）



北区西ヶ原 1-27-39

武蔵野台地の斜面と低地という地形を活かし北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園，そして低地には日本庭園を配したのが特徴

竣工：1917（大正 6）年

設計：建築・洋風庭園 ジョサイア・コンドル
和風庭園 京都の庭師・七代目小川治兵衛

中央公園文化センター（今回のコース外）



北区十条台 1-2-1

旧陸軍東京第一造兵廠本館（兵器工場の本部）

戦後米軍が接收．1961（昭和 36）年にキャンプ王子．

1968（昭和 43）年 3 月にベトナム戦争の激化に伴い米軍王子野戦病院として開設

竣工：1930（昭和 5）年

設計：不詳

音無橋と音無親水公園



北区王子 1-1-1 先

石神井川の水路を整備し、昭和 63 年に開園．

川の上・中・下流をかたどった園内では、かつてこの近辺にあった権現の滝、舟串橋が姿を変えて復元されている．



音無橋も公園新設と同時に改修．

自然石の石積護岸は増水時の防災機能を兼ねたもの．

平成元年「日本の都市公園 100 選」

同 2 年「手づくり郷土賞」

音無さくら緑地と緑の吊り橋（今回のコース外）



北区王子本町 1-6 先

音無川（石神井川の王子周辺での呼び名）の整備に際し川を直線化したため曲線の旧河道が所々に残った。

その河道を音無さくら緑地として整備。

旧河道の自然露頭が見られる。



路面電車（都電）の走る景



都電荒川線は、発車時のベルの音から「チンチン電車」の愛称で親しまれている。

かつて、東京中を走っていた都電は、この線だけが残し、住宅地の中を走る風景が下町の庶民的な暖かさを醸す。

王子駅ガード下から飛鳥大坂を上り飛鳥山駅までの間は自動車と並走。

飛鳥山の小径（今回のコース外）



北区王子 1-3

さくら新道



西尾商店（亀の子束子）（今回のコース外）



北区滝野川 6-14-8

旧中山道沿いに建つ 1907（明治 40）年創業の本社社屋。

竣工：1923（大正 12）年

設計：不詳

東京種苗（今回のコース外）



豊島区西巢鴨 3-19

旧中山道沿いに現在も残る種屋は、江戸時代から道中の旅人に野菜の種子を販売し、「種子は滝野川」と称されるほど有名だった。

大根、ゴボウ、ニンジン品質の良いものが収穫されるため評判が高く、中でもニンジンは滝野川ニンジンと呼ばれ、もてはやされた

千川上水公園（今回のコース外）



豊島区西巢鴨 2-39-5

旧千川上水を偲ぶ豊島区最初の公園

明治 13 年、旧千川上水水路敷地を市民により旧東京市へ寄付。千川上水は、かつてこの場所にあった堀割を経て、分水は六義園や本郷、湯島のあたりまで流れていた。

昭和 15 年 都の公園として開園。

公園の地下には現在でも水流を調節するために設けられた分水堰や、六義園に水路を引くために作られた沈殿池が残る。

霜降銀座商店街（今回のコース外）



北区西ヶ原 1-48 から 63 辺り

細い通りに面した商店はどこも商品をいっぱい積み上げる.

そこに多くの買い物客が集まってくる状態はまるで祭りの夜店のような賑やかさと表する人も多い.

ペイブのデザイン等商店街として趣向をこらし, 狭い道幅での魅力的な活況を呈している.

巣鴨地藏通り商店街（とげぬき地藏商店街）



豊島区巣鴨 3-35 から巣鴨 4-32 辺り

とげぬき地藏高岩寺がこの地に移ってきたのは

明治 24 (1891) 年.

以来中山道の道筋は参詣客で賑わい始め門前町として発展

地藏通り商店街の建築に頼らない商店街のエネルギーを建築家は見ておいても良いのではないかと思います.

特に中高年を対象とした商品の陳列の仕方や表示スタイルはユニバーサルデザインを考える上でも示唆に富んでいるのではないかな.

